

■編集後記

記要を出そうか、と気軽に声をかけ、結果として、多くの人に迷惑をかけ、記要がで
きあがった。

われわれ体育科の仲間存在を、浮き彫りしたかのように、内容も文体も、皆んなバラ
バラ。

死んだ斎辰雄さんの言葉を借りれば、『アンバランスド・バランス』というのだろう。

われわれだって、金さえあれば、高級（高価）な実験器具を使いこなして、シャレた論
文の10や20は、簡単に作れマスヨ。金さえあれば、……

しかし、われわれには金がない、だとしたら、われわれがやるべきことは、金持ちが見
落したり、無視している範ちゅうに、焦点をしぼって、体育的真理を追求するしかない。

アンバランスド・バランスでもいいから、これからも、われわれは、貧乏人でないと、
できないような研究をやろう、こつこつと。

大都会の花屋の店頭には、並べられている、バラの花だけが、美しいのではない。山奥で
ひっそり咲いている、名もない小花も、また美しい花であるはずである。

たとえ、だれにも美しいと言ってもらえなくても。

(春見)

愛知大学体育学論叢 創刊号 1号

1984年7月25日 印刷

1984年7月31日 発行

発行責任者 山 本 茂 紀

発行所 愛知大学体育研究室
〒440 豊橋市町畑町1の1
TEL. (0532)45-0441 内線232

印刷所 東邦印刷工業所